



発行元： 水戸市立中央図書館
 水戸市大町3丁目3番20号
 学校図書館支援担当
 発行日： 令和6年8月26日



ちょっと知りたい『徒然草』^{つれづれぐさ} 今回は、中学2年生の国語の教科書に掲載されている『徒然草』を紹介します。

徒然草の作者は、兼好法師。鎌倉時代から南北朝時代の人で、本名は卜部兼好^{うらべかねよし}といひます。

日本三大随筆といわれる徒然草ですが、知られるようになったのは、彼の死後、室町時代の歌人^{しょうてつ}正徹が、本の中でほめたことなどがきっかけです。さらに多くの人に広まるのは、300年後の江戸時代で、印刷技術の発展もあり、解説書が出されるなどブームが起きました。



作者：兼好法師
 本名：卜部兼好^{うらべかねよし}



構成：序段（「つれづれなるままに」ではじまる始めの文）・243段（「段」とは分けられた話のこと）

内容：人間の生き方を示した教訓・世間話・思い出話・移ろいゆく自然の姿など

争いが起きる不安定な時代を生きた兼好の経験は、徒然草の中に「無常観」として現れているともいわれています。

*無常観（この世のものは常に変化して、いつまでも変わらないものは何もない、この世はむなしいというものの見方）

九二段

読んでみよう 徒然草

ある人が、師匠に弓術を習いました。その人が、二本の矢を持って向かったところ、師匠は、はじめから二本持つてはいけなかったと言いました。それはなぜなのでしょうが。

原文 「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。後の矢を頼みて、はじめの矢に等閑^{なまじり}の心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へ。」

訳文

「初心者は、二つの矢を持つことをするな。あとの矢を頼りにして、はじめの矢にいいかげんな気持ちが出るからだ。毎回ただやりそこなうことなく、この一本の矢で決めようと思え。」

出典：『絵で読む日本の古典 3』 p.38

一〇九段

木登り名人の男が、人を指図して木に登らせ、高い所にいるときは何も言わずに、下がってきたとき「用心しろ。」と言葉をかけた。なぜそういうことを言ったのでしょうか。

原文

「あやまちは、やすき所になりて、必ず仕る事に候。」

訳文

「失敗は、安全なところになると、必ずいたす事になります。」

いろいろな現代語訳があるよ。



出典：『絵で読む日本の古典 3』 p.40

「つれづれなるままに（することもなく、たいくつなのに任せて）」書いたとされている『徒然草』ですが、実は、当時の有力者の教養ある人に向けて書かれたのではないかという説もあるそうです。完成から約700年、今も私たちに生きる上でのさまざまなヒントをあたえてくれています。

参考図書：914『兼好法師と徒然草』ほるぷ出版 910/4『絵で見てわかるはじめての古典 4』Gakken
 910/3『絵で読む日本の古典 3』ポプラ社 910『日本の古典大事典』あかね書房

※タイトルの前の数字は、ラベルです。

古典を知るために参考になる本やサイトを紹介した
[古典文学パスファインダー（調べもの案内）](#)を
 作成しました。



裏面では、参考・関連図書を紹介しています。
 タブレット・スマホからは[こちら](#)→



兼好法師は、京都にある吉田神社の神官（神主など）を務める^{うらべ}卜部の生まれとされ、以前は吉田兼好と呼ばれることもありましたが、史料があまり残っていないため、まだ十分にわかっていません。

古典は、新しい史料の発見によって定説が変わることもあるため、調べる時には、本の出版年も意識しよう。



参考図書紹介

914 『兼好法師と徒然草』
中野 貴文 監修 雛川 まつり イラスト
ほるぷ出版 2023



兼好法師の生涯と『徒然草』のいくつかの段について、かわい
いイラストを交えて、わかりや
すくまとめてあります。『ビジュ
アルでつかむ！古典文学の作家
たち』シリーズです。

914 『日本の古典大事典』
加藤 康子 監修 あかね書房 2018



主な日本の古典文学 20 作品を厳選して、イラストを交えながら、各
6 ページで解説しています。コン
パクトにまとめられているため、各
作品の概要をつかむのにもおすす
めです。

910 『絵で見てわかるはじめての古典 4』
田中 貴子 監修 Gakken 2020
4

『徒然草』について、作者、時代背景、各段の
紹介に加え、今の生活に例えたマンガや兼好法師
と清少納言の対比、タイプ別中世のお坊さんなど
楽しいテーマが取り上げられています。

910 『絵で読む日本の古典 3』
田近 洵一 監修 ポプラ社 2012
3



奈良絵本『徒然草』^{※1}、『徒然草画帖』^{※2}
の絵とともに、徒然草の各段を
紹介しています。最も古い時代に
写された^{しょうてつ}正徹本『徒然草』^{せい}（^か静嘉堂
文庫蔵）の写真も載っていて、資料
としても興味深いです。

※1 江戸時代の絵本
※2 江戸時代の画家、住吉具慶筆の徒然草

関連図書紹介

914 『まんがで読む徒然草・おくのほそ道』
島内 裕子 監修 Gakken 2014

『徒然草』のいくつかの段を漫画で紹介して
います。各段の場面がイメージしやすく、
間にあるコラムで、より詳しく学べます。

918 『21世紀版少年少女古典文学館 10』
司馬 遼太郎 監修 講談社 2009
10

『徒然草』を 100 回以上も読んだという
嵐山孝三郎訳の『徒然草』現代語訳です。
各段の「兼好・かげの声」という名の訳者
解説も楽しい 1 冊です。

914 『こども「徒然草」』
斎藤 孝 著 筑摩書房 2018



『徒然草』の各段の一言を抜き出して、著者独自の解釈を加え、
今の子どもたちの生活にも役立つ文章でわかりやすく紹介し
ています。各章の間には、兼好法師や徒然草の解説もあり、
手軽に学べる 1 冊です。

700 年も読み継がれているのよ！

